

観光

被災地応援ツアーの継続について

Q 平成 29 年度も、被災地応援ツアーを継続し、福島県内の経済と住民生活の回復に寄与すべき。

A 福島を訪れる観光客の数は回復しつつあるが、その道のりはいまだ途上であり、震災の記憶の風化も懸念されている。

福島県の観光を取り巻く状況や現地 の要望を十分に踏まえて、都としての適切な支援を検討していく。

無料Wi-Fiの整備の進め方について

Q 無料 Wi-Fi アンテナの設置促進のため、検討体制をつくるべき。

A 外国人観光客が多いエリアの街路にある観光案内標識への Wi-Fi アンテナの整備を行ってきており、本年度は約 160 基の設置を目指して取り組んでいる。

今後、Wi-Fi アンテナを観光案内標識に効率的に設置するとともに、その設置の対象を広げるため、関係する各局との協議の場を設けることを検討する。

豊洲市場

移転問題について

Q 信頼回復に向けた取り組みを全力で進めるべき。

A 市場の安全性を科学的に検証し、様々な分野の専門家による会議の提言を踏まえ、必要な対策を着実に実施する。併せて都民に対する正確な情報提供に努めることで、安全・安心な市場と都民の信頼回復を実現していく。



インクルーシブデザイン

Q 東京五輪後を見据えた「人にやさしい街づくり」を進めよ。

A 制度設計段階から高齢者や障がい者らの意見を取り入れる「インクルーシブデザイン」の手法を生かしていきたい。

※「インクルーシブデザイン」とは？

商品などの企画・設計段階から「リードユーザー」と呼ばれる障がい者や高齢者、妊産婦などと一緒に、日常の不便さを観察することにより、その不便さから新しい価値を発見し「完成価値」を高めていく手法。

都議会公明党

東京都議会
平成28年 第4回定例会特集
会期：12月1日～12月15日

ニュース

冬季号



都議会議員
鈴木かたろう
〒116-0001 荒川区町屋3-16-15
TEL.03-3895-4241

生活者の目線で提案、主張!!

第4回都議会定例会は 12 月 1 日～ 15 日に開催され、都議会公明党の代表質問（7日）、一般質問（8日）で、生活者の目線から論戦を展開しました。主な質疑の内容について、Q&A形式で紹介します。

代表質問

オリンピック・パラリンピック

総経費の縮減について

Q 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会に係る総経費の縮減に向けた知事の所見を伺う。

A オリンピック・パラリンピックを今後とも持続可能なものとしていくために、「アジェンダ 2020」が初めて適用される東京大会の責任は重い。

不断に経費を抑制、縮減できるよう、より効率的な調達の実施など、実効性のある仕組みを構築していく。

開催都市の長として、組織委員会、国などと緊密に連携しながら、大会総経費の縮減を図っていく。



障がい者スポーツの場の確保について

Q 障がいのある人が継続してスポーツに取り組めるよう「場の確保」に向け、積極的な支援に取り組んでいくべき。今後策定するスポーツ推進計画に盛り込むべき。

A 都立特別支援学校5校を、障害者スポーツの場として活用しており、今後順次拡大していく。また、民間スポーツジムが休館日にポッチャ選手に対して練習場所として施設を無償提供する事例が実現。

今後、新たなスポーツ推進計画の策定に向けた議論を通じ、初心者からアスリートまで、障がいのある方がスポーツに取り組むための場の確保を一層推進していく。

2020年パラリンピック東京大会について

Q 開催期間を「パラ応援ウィーク」に定めるなど、会場で観戦してもらうための工夫をすべき。

A 大会期間中、実際に会場で競技を観戦することができるよう、今後、組織委員会とも連携し、学校や企業などの協力を得ながら、具体的な方策について検討を進めていく。

一般質問

婚活支援

Q 結婚支援について都の具体的な取り組み状況を伺う。

A 平成 29 年3月をめどに結婚関連の情報を提供するイベントを開催し、結婚支援のムーブメント創出につなげていきたい。

